

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 6 部門第 3 区分
 【発行日】平成 26 年 7 月 17 日 (2014.7.17)

【公開番号】特開 2012-3760 (P2012-3760A)
 【公開日】平成 24 年 1 月 5 日 (2012.1.5)
 【年通号数】公開・登録公報 2012-001
 【出願番号】特願 2011-130740 (P2011-130740)
 【国際特許分類】

G 0 6 F 3/12 (2006.01)

B 4 1 J 29/38 (2006.01)

B 4 1 J 29/42 (2006.01)

【F I】

G 0 6 F 3/12 D

G 0 6 F 3/12 K

B 4 1 J 29/38 Z

B 4 1 J 29/42 F

【手続補正書】
 【提出日】平成 26 年 6 月 2 日 (2014.6.2)
 【手続補正 1】
 【補正対象書類名】特許請求の範囲
 【補正対象項目名】全文
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【特許請求の範囲】
 【請求項 1】

印刷ジョブの選択が環境的に通知されることを促進する方法であって、

プロセッサが、ネットワークプリンタ群のそれぞれに状態を割り当てるステップであって、運用プリンタの該状態は、プリンタを少なくとも活動状態、スリープ状態、および立ち上げ状態のうちの 1 つであるとして表すステップと、

ワークステーションで印刷ジョブがユーザにより選択されたとき、印刷のための印刷対象の提案より前にユーザに表示するための前記ワークステーションのグラフィック・ユーザ・インターフェースへ前記割り当てられた状態を与え、印刷ジョブを印刷するプリンタの選択用に、前記ネットワークプリンタ群のうちのユーザが選択可能な複数のプリンタの状態をユーザが比較することを可能にするステップと、を含む方法。

【請求項 2】

前記状態を割り当てるステップは、限界遅延量を確立するステップと、現在はスリープ状態のプリンタが、前記限界遅延量が満了する前に立ち上げを行うと期待される場合に、前記プリンタに立ち上げ状態を割り当てるステップとを含む、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 3】

前記限界遅延量は、前記ユーザが先行して受け入れた遅延時間に基づく、請求項 2 に記載の方法。

【請求項 4】

前記状態を割り当てるステップは、最大遅延量を確立するステップと、現在はスリープ状態のプリンタが、前記最大遅延量が満了する前に立ち上げを行うと期待されない場合に、前記プリンタにスリープ状態を割り当てるステップとを含む、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 5】

さらに、各プリンタ状態に対応して、該状態を割り当てられたプリンタと関連付けて、前記グラフィック・ユーザ・インターフェース上にグラフィック的に表示可能なアイコン

を与えるステップを含む、請求項 1 に記載の方法。